

令和 7 年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	40	岩村田	高等学校	全	課程	普通	科
----------	----	-----	------	---	----	----	---

学校教育目標	道徳教育の重点目標
中学校教育の成果をさらに拡充し、全人教育を施し、将来・国家・社会における文化の創造と発展に寄与できる人材の育成を目指す。	○生徒一人ひとりが、高等学校の授業や特別活動、地域の活動等に主体的に関わり協働していく中で、社会性や人権意識を高め自立した人間としての在り方、生き方を育む。 ○中学校時より積み重ねてきた物事に対する道徳的な価値観や理解力、判断力を基に高等学校の諸活動において、他者と共生する意欲や姿勢を育む。 ○自国の歴史や文化、伝統を大切にし、更に他国の文化や社会の多様性を学ぶ中で、互いを尊重し合える豊かで寛容なこころを育む。
重点目標	
(1) 探究的な学習活動において、生徒が協働的な学びを通じて対話力を高め、他者とのつながりを意識した学びを醸成する。 (2) 生徒が自ら考え主体的に学び続ける姿勢と社会に柔軟に対応できる力を育てる。 (3) 教職員一人ひとりが人権感覚を磨き、いじめや体罰のない安心・安全な学校づくりに取組み、生徒、保護者の思いを共感的に受け止め、共に成長していく姿勢で日々の教育活動に臨む。 (4) 岩高の良さを積極的に発信し、地域との連携を大切にする中で本校の特色化を考える。	

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科																						
1 年	規律や生活習慣を学び、建学の精神の「信頼に足る人物たれ」のもと、一人の人間としてよりよく生きていくための力を養い、また学校や学級の一員として協力して学校をつくる自覚を身につける。	職業理解、自己理解を目標にし、将来社会で生きて行く上での自分の在り方を学ぶ。また集団の一員として生活する中でいかに生きていくのかを考え、共生の心を養う。	学級の一員として他者とともに自らを育て、仲間とともに協力し合うことの大切さ他者への思いやりを学ぶ。集団の中における自己の確立とともに、自律的な行動のできる人間としての力も養う。	さらなる自己実現を目指すとともに、より集団活動の尊さや仲間を尊重する精神や他者への理解し、目標達成への努力の大切さを養う。	<table><tr><td>国語</td><td>言語感覚を豊かに高め、言葉による見方・考え方を働かせ、他者の心情を理解する感性や思いやりの心を育む。</td></tr><tr><td>地理歴史</td><td>世界各国・地域の国土や歴史、文化に対する知識と理解を深め、社会との関わりを意識するなかで、人としての生き方を育む。</td></tr><tr><td>公民</td><td>多様化する現代社会の仕組みや社会が抱える諸課題や地域課題について考えることで社会の一員として主体的に生きる力を育む。</td></tr><tr><td>数学</td><td>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、知的好奇心や豊かな感性、粘り強く考える態度を含め、創造性の基礎を養う。</td></tr><tr><td>理科</td><td>自然との関わりを認識し、事物・現象を探究する活動を通し、科学的に生命や持続可能な環境について考え、行動する姿勢を育む。</td></tr><tr><td>保健体育</td><td>身体を動かすことやスポーツを通して、また保健学習を通して、人を大切にする態度を育てる。</td></tr><tr><td>芸術</td><td>我が国および諸外国・地域の芸術文化に触れることで、豊かな感性を養い、多様な文化を理解し、その良さを認めあう力を育む。</td></tr><tr><td>外国語</td><td>諸外国の言語や文化に対する知識、理解を深め、国際的な視野を広げ、コミュニケーション能力や他者を理解する力を育む。</td></tr><tr><td>家庭</td><td>生活に主体的にかかわることで視野を広げ、他者との調和を図り、自分の生活・生き方を創造していく力を育む。</td></tr><tr><td>情報</td><td>情報を適切に使いこなせる知識を学び、情報社会において、他者に配慮できるモラルや感性、道徳心を育む。</td></tr><tr><td>総合的な探究の時間</td><td>課題探究の中で多様な学びを体験し、個の学び、他者のための学びを通して、共生の心や他者を尊重する理解力を育む。</td></tr></table>	国語	言語感覚を豊かに高め、言葉による見方・考え方を働かせ、他者の心情を理解する感性や思いやりの心を育む。	地理歴史	世界各国・地域の国土や歴史、文化に対する知識と理解を深め、社会との関わりを意識するなかで、人としての生き方を育む。	公民	多様化する現代社会の仕組みや社会が抱える諸課題や地域課題について考えることで社会の一員として主体的に生きる力を育む。	数学	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、知的好奇心や豊かな感性、粘り強く考える態度を含め、創造性の基礎を養う。	理科	自然との関わりを認識し、事物・現象を探究する活動を通し、科学的に生命や持続可能な環境について考え、行動する姿勢を育む。	保健体育	身体を動かすことやスポーツを通して、また保健学習を通して、人を大切にする態度を育てる。	芸術	我が国および諸外国・地域の芸術文化に触れることで、豊かな感性を養い、多様な文化を理解し、その良さを認めあう力を育む。	外国語	諸外国の言語や文化に対する知識、理解を深め、国際的な視野を広げ、コミュニケーション能力や他者を理解する力を育む。	家庭	生活に主体的にかかわることで視野を広げ、他者との調和を図り、自分の生活・生き方を創造していく力を育む。	情報	情報を適切に使いこなせる知識を学び、情報社会において、他者に配慮できるモラルや感性、道徳心を育む。	総合的な探究の時間	課題探究の中で多様な学びを体験し、個の学び、他者のための学びを通して、共生の心や他者を尊重する理解力を育む。
	国語	言語感覚を豊かに高め、言葉による見方・考え方を働かせ、他者の心情を理解する感性や思いやりの心を育む。																									
地理歴史	世界各国・地域の国土や歴史、文化に対する知識と理解を深め、社会との関わりを意識するなかで、人としての生き方を育む。																										
公民	多様化する現代社会の仕組みや社会が抱える諸課題や地域課題について考えることで社会の一員として主体的に生きる力を育む。																										
数学	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、知的好奇心や豊かな感性、粘り強く考える態度を含め、創造性の基礎を養う。																										
理科	自然との関わりを認識し、事物・現象を探究する活動を通し、科学的に生命や持続可能な環境について考え、行動する姿勢を育む。																										
保健体育	身体を動かすことやスポーツを通して、また保健学習を通して、人を大切にする態度を育てる。																										
芸術	我が国および諸外国・地域の芸術文化に触れることで、豊かな感性を養い、多様な文化を理解し、その良さを認めあう力を育む。																										
外国語	諸外国の言語や文化に対する知識、理解を深め、国際的な視野を広げ、コミュニケーション能力や他者を理解する力を育む。																										
家庭	生活に主体的にかかわることで視野を広げ、他者との調和を図り、自分の生活・生き方を創造していく力を育む。																										
情報	情報を適切に使いこなせる知識を学び、情報社会において、他者に配慮できるモラルや感性、道徳心を育む。																										
総合的な探究の時間	課題探究の中で多様な学びを体験し、個の学び、他者のための学びを通して、共生の心や他者を尊重する理解力を育む。																										
2 年	自律の精神を磨き、主体的に行動できる判断力を養う。また協調の心を育て、集団のつくり方や協働して物事に取り組む力を育て、社会の一員として生きていく力を身につけていく。	自ら将来を見ずえた進路探究に取り組み、具体的な進路目標に向けて、学びの在り方や自分が社会でできる役割を考えていく。	各ホームルーム活動での諸活動において自覚と責任を持ち、またホームルームの枠を超えてより大きな集団における自己確立の可能性を模索していく。その中で他者と集団を構成する力を養う。	学校における中心的存在として主体的に行動し、課題の解決や目標の実現に向けて他者と協働する自主的かつ実践的な態度を身につける。																							
3 年	最上級生として学校を形成する一員としての自覚を持ち、より主体的な活動をする中で、社会の課題に向き合う。社会を形成するための判断力・想像力・協働力を養い、自己実現を目指すしていく。	社会を形成する一人として、自らの社会における生き方や、自立して生活できる力を養う。予測が難しく、多様化した社会の中で、自ら進路を決定し実現するために、他者と協力しながら学びを深める。	最上級生としての自覚を促すとともに醸成し、卒業後に自立し、社会で共生していける力を身につけていく。	最上級生として下級生を牽引する自覚を持つと同時に、後輩とともに成長する意識を持って集団づくりをしていく。また、その意識から社会を構成する一人として自覚を持ち、集団生活の充実に取り組む。																							

家庭・地域との連携	地域に開かれた学校として、公開授業や学校評議員会、行事等において地域社会との連携を深める中、生徒が地域に支えられ、応援されていることを意識する機会、取組みを工夫する。また、学校生活においては、家庭や地域と連携し、生徒が自己を大切にし、同様に他者を尊重する心を育てる中で、社会の一員としての自覚を高め、個人と社会の共生を図る力を育む。
-----------	--